

尚徳寮

平成 29 年 4 月 18 日

鳥取大学附属中学校

文責 坪内 茂

本年度もどうぞよろしくお願ひいたします

新入生 131 名を迎え、全校 406 名の附属中学校がそろいました。それぞれが成長する姿を描いて、また、それぞれの学年のゴールに向かって出発しました。この 1 週間、生徒のみなさんも、保護者の方々も、新しい環境で緊張の連続だったことでしょう。お子様の成長を共に願って進みたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。今年度、附属中学校の職員の顔ぶれもずいぶん変わりました。学級がまとまって居心地のいい場所になっていくように、鶴崎展巨（つるさきのぶお）校長と共に、附中でがんばられてよかったと言われる学校づくりに邁進したいと思います。

入学式式辞より

皆さんがこの伝統ある学び舎で新たな一步を踏み出すにあたり三つのお願ひをしたいと思います

一つ目は、自分の好きなことを徹底的に延ばして、これだけは人に負けないといえるものをつくってほしいということです。私たちの脳には、汎化（はんか）とよばれる「何かひとつの能力が伸びると、それに直接は関係しない部分の能力もいっしょに伸びる」という性質があるそうです。言い換えると、たとえば「苦手な教科を克服するよりも、まずは得意科目を徹底的にのぼすほうが、成績全体を上げるのには役立つ」ということです。人に誇れる得意分野をもっていると、将来自分が進むべき道やそこに進むための目標もおのずと見えてくると思います。目標が明確なら、得意でない勉強もがんばれます。



二つ目は、人、とくに友達とのかかわりを大切にしてほしいということです。人は、他人とのかかわりの中で成長します。この学校の校訓の一つは切磋琢磨です。この中学校にはいろいろな地域から異なる経験や能力を身につけた人たちが集まっていますので、切磋琢磨にはうってつけの環境だと思います。

切磋琢磨は、「競争」とは根本的に異なります。「競争」は生態学の分野では、同じ食べ物や棲み場所を利用する生物どうしで、相手がいなければ独占できたはずの食べ物や棲み場所を相手がいるために利用できる範囲が狭まる、つまりお互いにマイナスな関係をさすのですが、切磋琢磨は、おたがいにプラス、はやりの言葉でいうと Win-Win の関係です。そのような関係を築くには、相手の気持ちを思いやれる力が必要です。相手の気持ちを推察すること、これを少し難しいことばでは「忖度（そんたく）」といいます。この「忖度」という言葉が最近、なぜかねじまげられて、何かネガティブなことであるかのようにテレビなどで報道されていたのは残念です。「忖度」は「他人のこころをおしはかること」であって、本来は、ほめられるべき力だと私は思います。相手の気持ちを理解して相手と接することをこころがければ相手もそのように返してくれるでしょう。これが切磋琢磨の前提です。

三つ目は、日頃からたくさん読書をしてほしいということです。最初の、自分の進むべき道を見つけ得意分野を伸ばすうえでも、また、二つ目の、ひとの気持ちやいろいろな物事への想像力を鍛えるうえでも、中学生活の間に読書に親しむことは非常にたいせつだと思います。とりわけ小説のようなものをたくさん読み、登場人物の生き方や気持ちを疑似体験することで、想像力を磨いてほしいと思います。

注：一部、時間の都合で当日は省略した部分を含んでいます

今後の行事予定

4月 19日 (水)	3年生修学旅行～21日 (金)
20日 (木)	<u>1年生遠足 湖山池周辺・・・20,21日とも弁当の準備をお願いします。</u>
20日 (木)	<u>2年生遠足 出会いの森・・・20,21日とも弁当の準備をお願いします。</u>
27日 (木)	1年生内科検診、1年生部結成
29日 (土)	<u>参観日・教育懇話会総会・後援会総会・・・弁当の準備をお願いします。</u>
5月 1日 (月)	4/29日 (土) の振替休業
8日 (月)	中教振教科部会です。午前中授業・部活・給食なし

副校長より

本年度4月より副校長として赴任しました坪内茂です。伝統ある附属中学校で勤務できることをうれしく思います。わずか2週間ですが、附属中70年の伝統が引き継がれ、様々な教育活動に浸透していると感じているところです。中でも、文字通り厳粛な雰囲気の中で行われた入学式は、新入生にとって、「附属中で自分は何をしたいのか」を自らに問い、新たな決意を起こさせる儀式でした。

「伝統」は引き継ぐものだけでなく、新たに築きあげていくものでもあります。校訓にありますように、文武併進、切磋琢磨の精神を大切にして、生徒一人ひとりが個々の能力をしっかりと伸ばすことができる学校づくりに鶴崎展巨校長と共に努めます。どうぞよろしく願いいたします。

警報対応について

本校生徒の通学範囲は、県東部はもとより、県中・南部から兵庫県北部までの広範囲にわたっております。そのため、自然災害で交通機関が乱れた場合、登校の可否につき保護者の皆様もご判断に苦慮されることと思います。そこで、気象警報が発令された場合の措置につき、下記のとおりとさせていただきます。何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

①警報の地域・種類は以下の通りです。

○警報の地域 **鳥取市北部（鳥取地区）**

○警報の種類 「大雨」「洪水」「大雪」「暴風」「暴風雪」

②**6:30に上記の警報が発令されている場合、生徒は臨時休業とします。**翌日の連絡については、学校連絡網（メール）により指示します。

③通学途中に上記の警報が発令された場合は、生徒自身が安全性を考慮して帰宅もしくは登校の判断をします。警報発令を知らずに登校した生徒は、学校長の指示に従って帰宅します。

④**鳥取市北部（鳥取地区）には警報が発令されていないが、鳥取市北部（鳥取地区）以外の地域に警報が発令されている場合、その地域に居住している生徒は臨時休業とします。**

⑤学校にいるときに警報が発令された場合は、学校長が指示します。

※警報発令により登校できなかった場合は、欠席扱いにはなりません。

※給食の食材によっては返品できないものもあり、臨時休業となっても給食費の一部を負担していただくこととなりますが、ご了承ください。

学校への相談・連絡・情報提供

～まず、ご一報ください～

非通知はつながりません。よろしく願いします。

電話：31-5175 FAX：31-5176 メール：chu@fuzoku.tottori-u.ac.jp

鳥取大学附属中学校 <http://www.chu.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>

3年生のみなさん、明日からの修学旅行をいい時間にしてください。